

「国際理解」と言われても…

という人のためにまずはクイズから！

まずは世界の国の数について

クイズ：

現在、世界には何か国ぐらいありますか？

① 160カ国 ② 180カ国

③ 200カ国 ④ 220カ国

正確には・・・196カ国

世界の人口は？

クイズ：

現在、世界の人口はおよそ何億人でしょうか？

- ① 70 億人 ② 72 億人
③ 75 億人 ④ 77 億人

出典：国際連合広報センター 2019年データ

https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/33798/

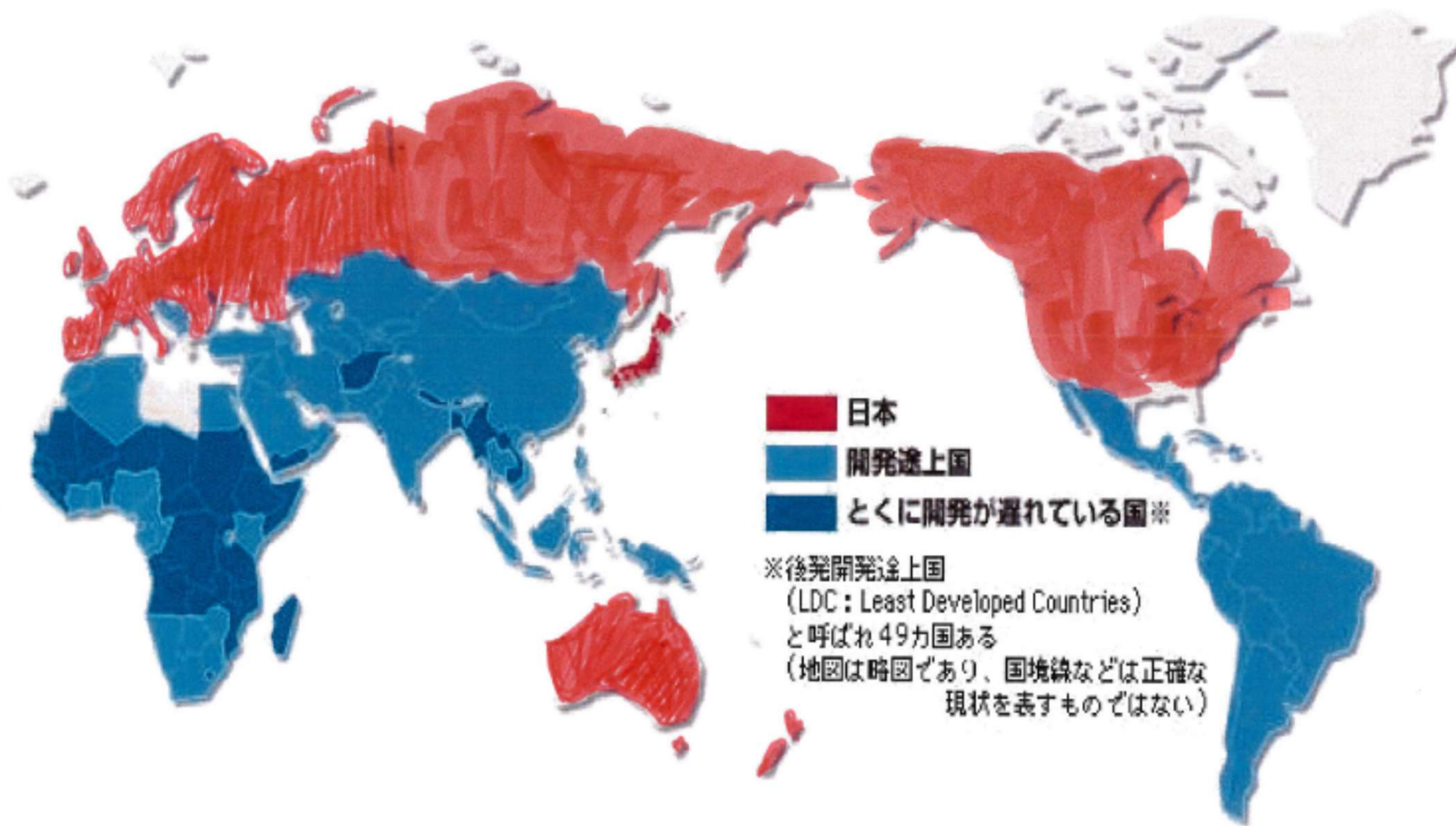
発展途上国の数はどれ位？

- ① 80カ国 ② 110カ国 ③ 140カ国

途上国の数	143
世界の国・地域の数	196

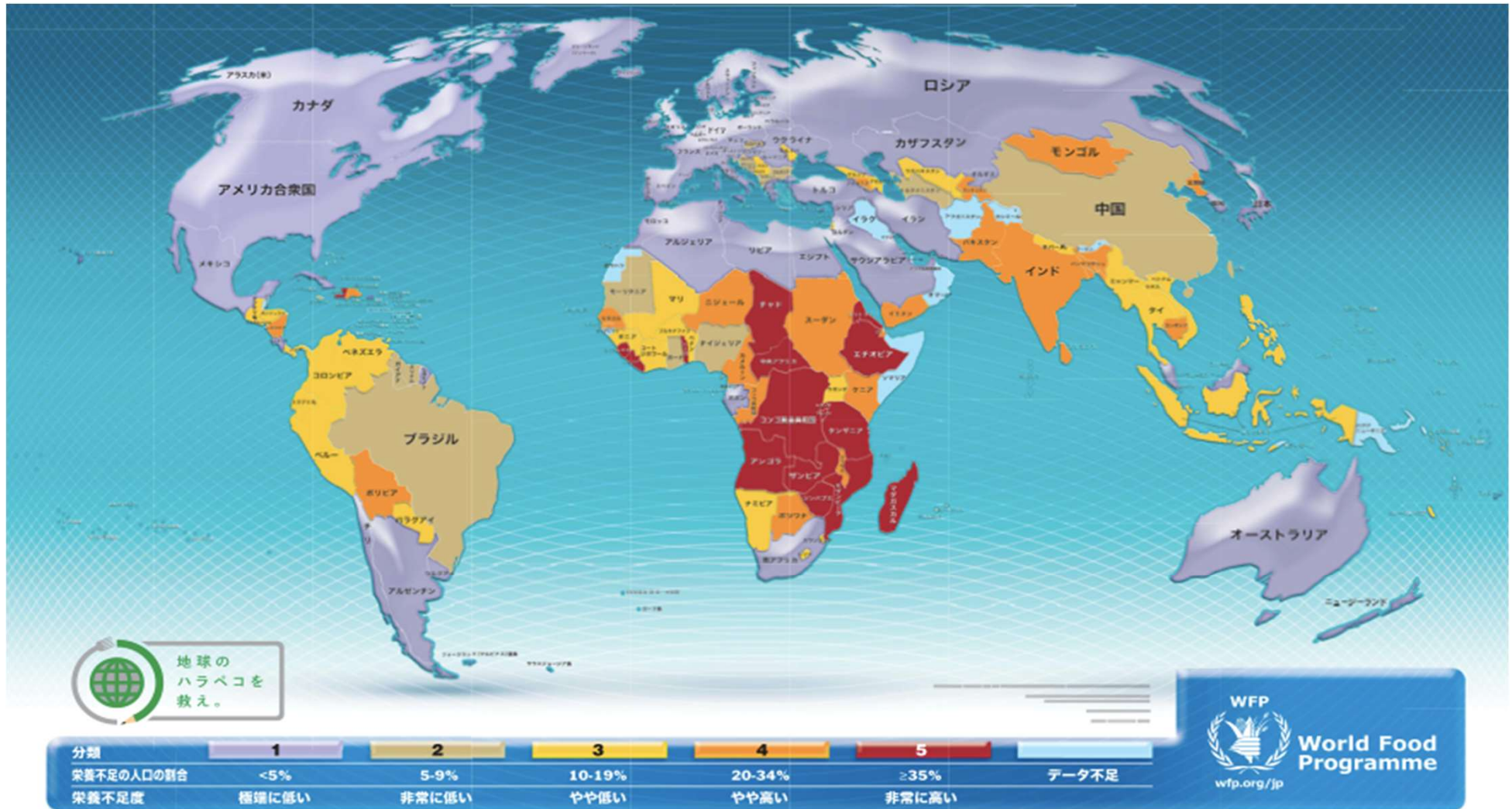
世界の人口75億人の内、75%の人が途上国に住んでいます。

あなたが答えた国は青ですか、赤ですか？



**なぜあなたは途上国を選ばなかったのだろうか？
青(途上国)の国の数の方が多いのに？**

ハンガーマップ …… 飢餓はどこに多い？

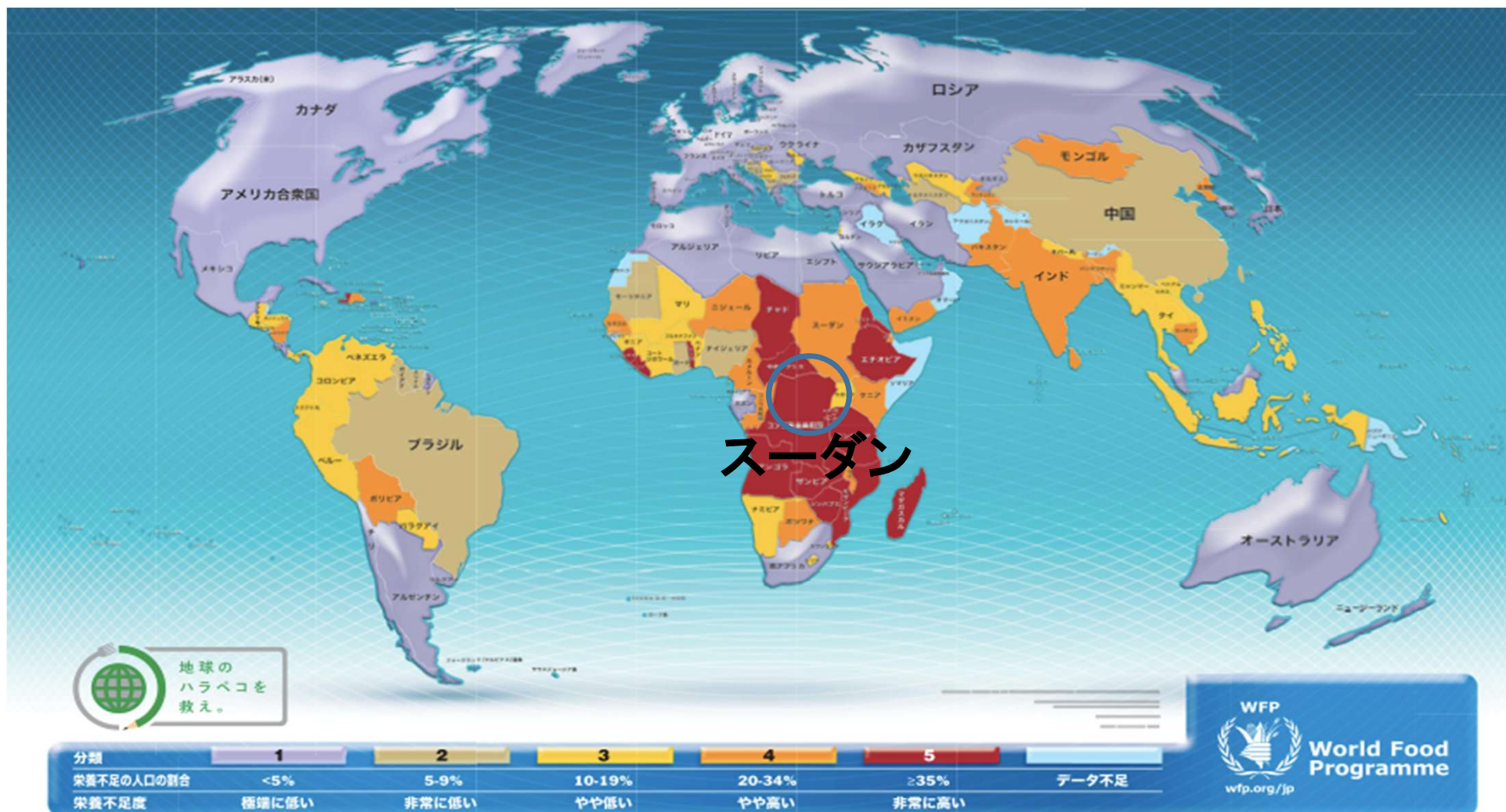


出典: 世界の食糧不足の現状2008 <国際連合食糧農業機関 (FAO)> FADMIデータベース
© 2009 United Nations World Food Programme

出典先: 国際連合世界食糧計画 (WFP) 東京事務所のホームページより (<http://ja.wfp.org/>)

WFP 国連世界食糧計画

なぜ、アフリカに多いの？



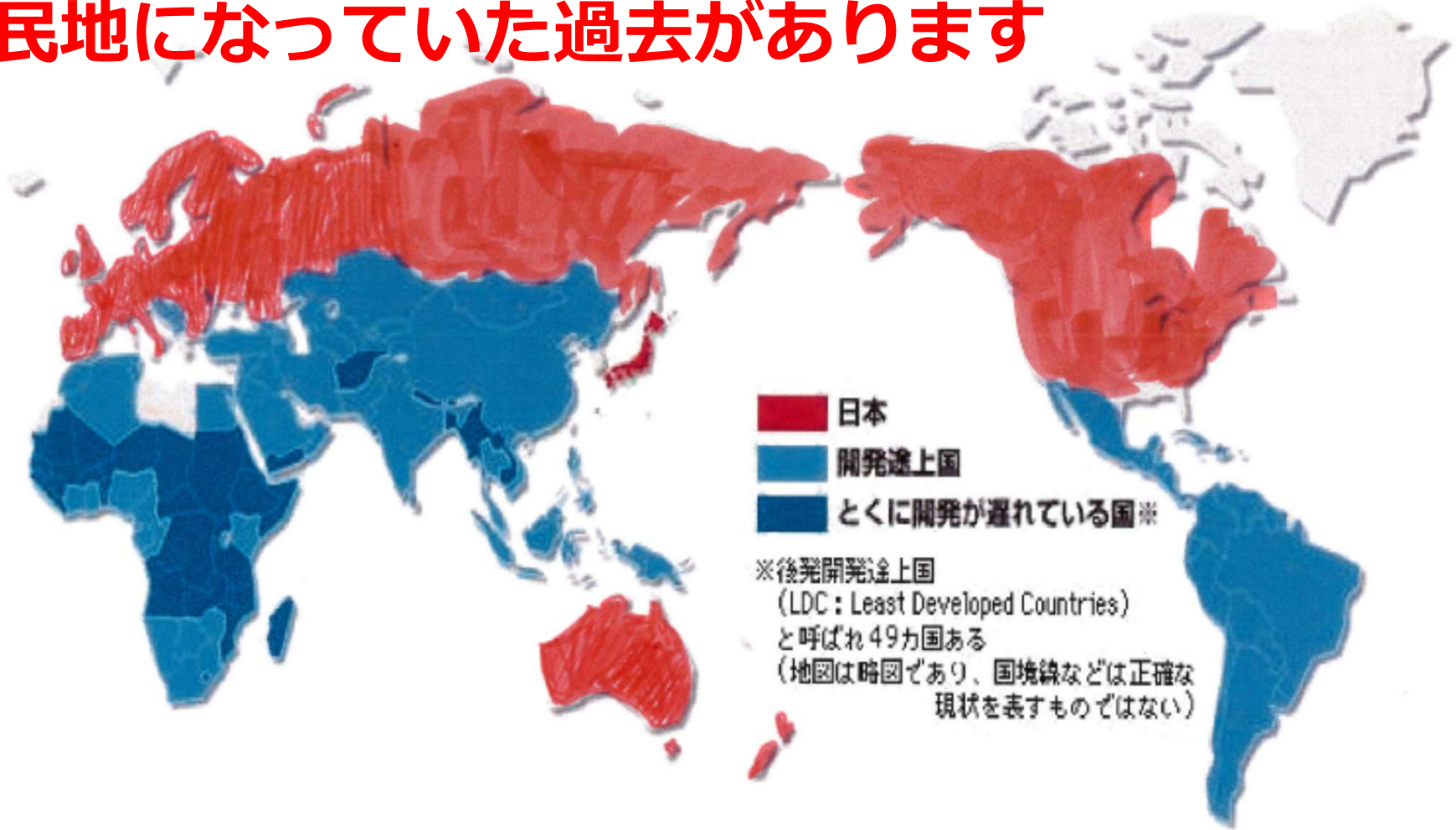
出典：世界の食糧形勢と食料の現状2008 <国際連合食糧農業機関 (FAO) >
FAGSIS データベース
© 2008 United Nations World Food Programme

出典先：国際連合世界食糧計画（WFP）東京事務所のホームページより (<http://ja.wfp.org/>)

WFP 国際連合世界食糧計画

途上国のエリア

植民地になっていた過去があります



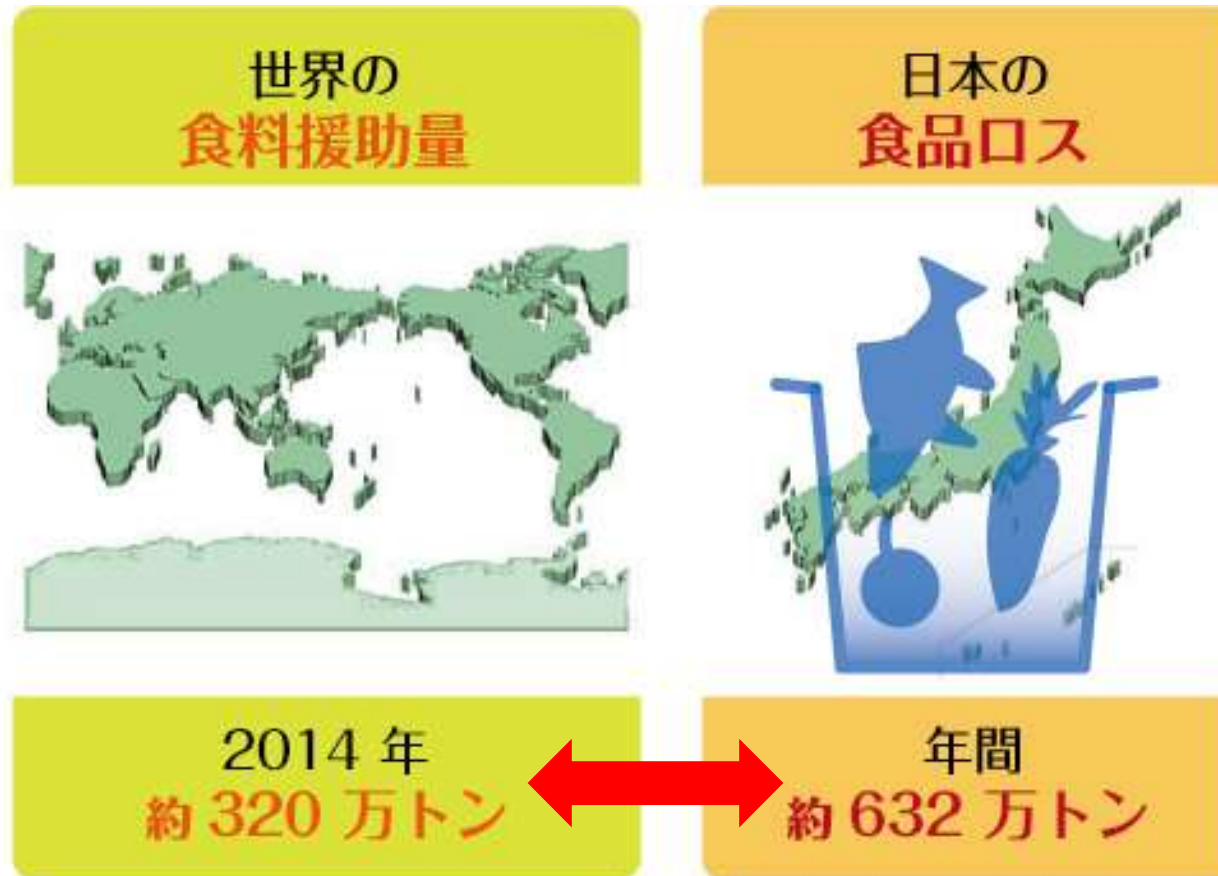


世界では
4秒間に一人が
飢餓で
命を落とす

出典： NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版
<http://natgeo.nikkeibp.co.jp/nng/article/20120125/297289/?P=2> [2016/04/20]

世界には飢餓が存在する一方で、

日本の食料自給率は現在39%（平成27年度）で、大半を輸入に頼っていますが、その一方で、食べられる食料を大量に捨てているという現実があるのです。



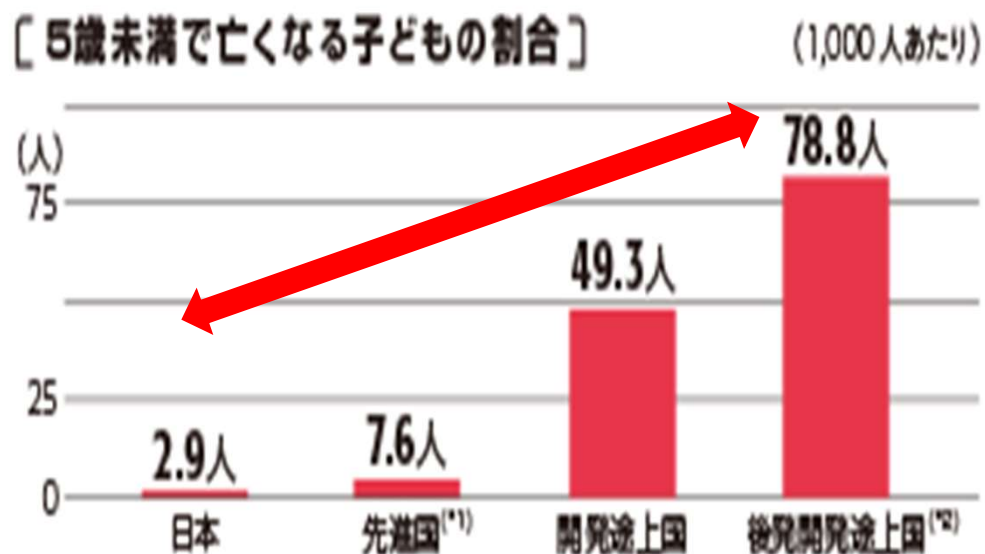
出典：WFP発表の数値

他にも、
世界にはどのような「差」が
あるのでしょうか？

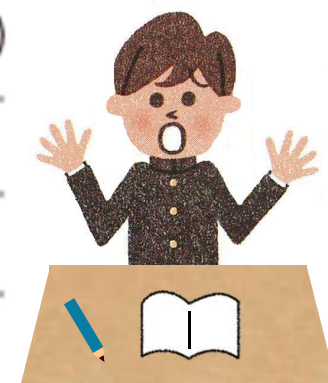
5歳未満児の死亡率（1000人中）

きびしい生活で死んでしまう 子どもがたくさんいます

毎日ちゃんとご飯が食べられず、病気になっても治療すら受けられない貧しい国々では、5歳になるまでに命を落とす子どもがたくさんいます。日本では1,000人中3人ですが、もっとも貧しい「後発開発途上国(特に開発が遅れている国々)」では、79人もの子どもが亡くなっているのです。



出典：UNDP「人間開発報告書2015」

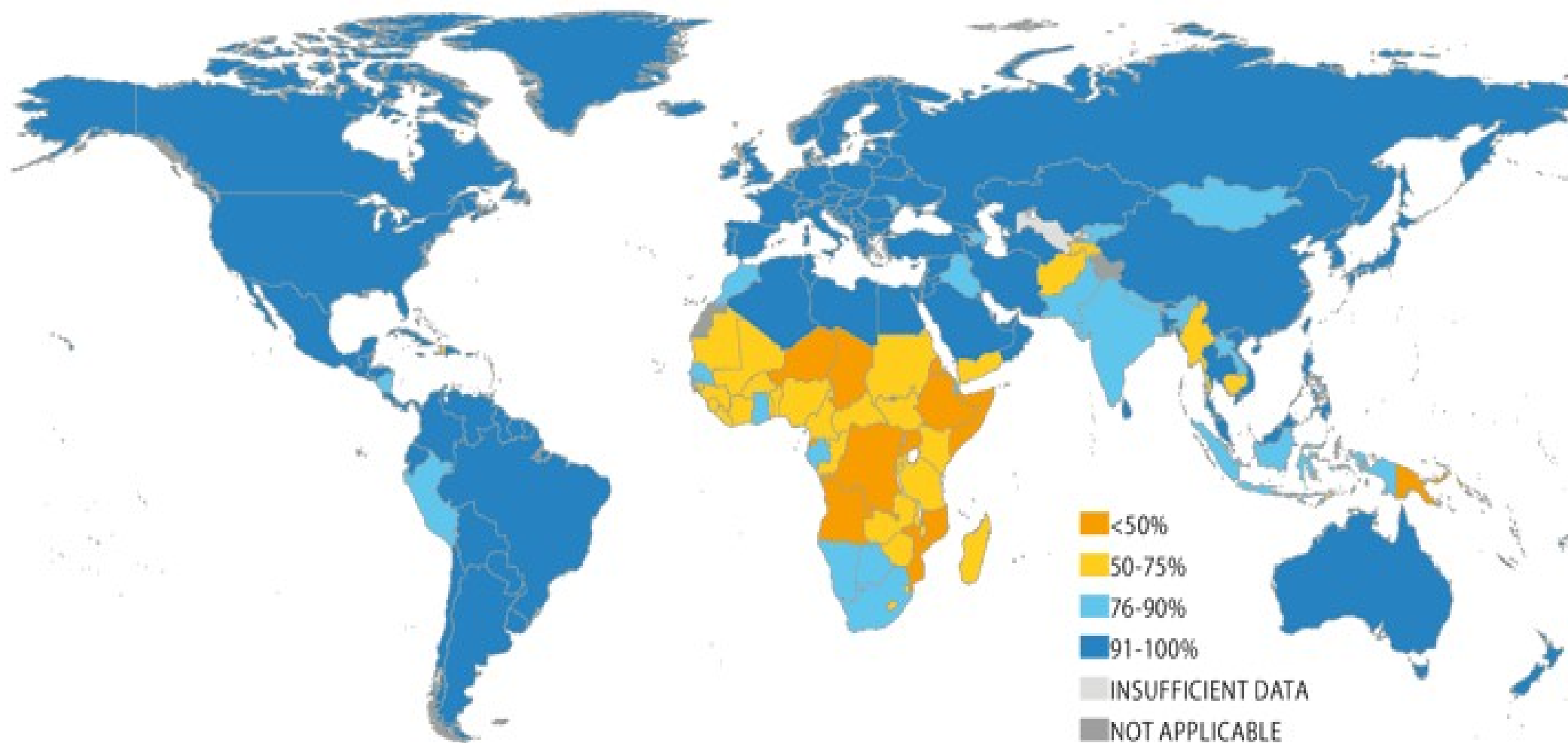


79人

出典：UNDP「人間開発報告書2015」



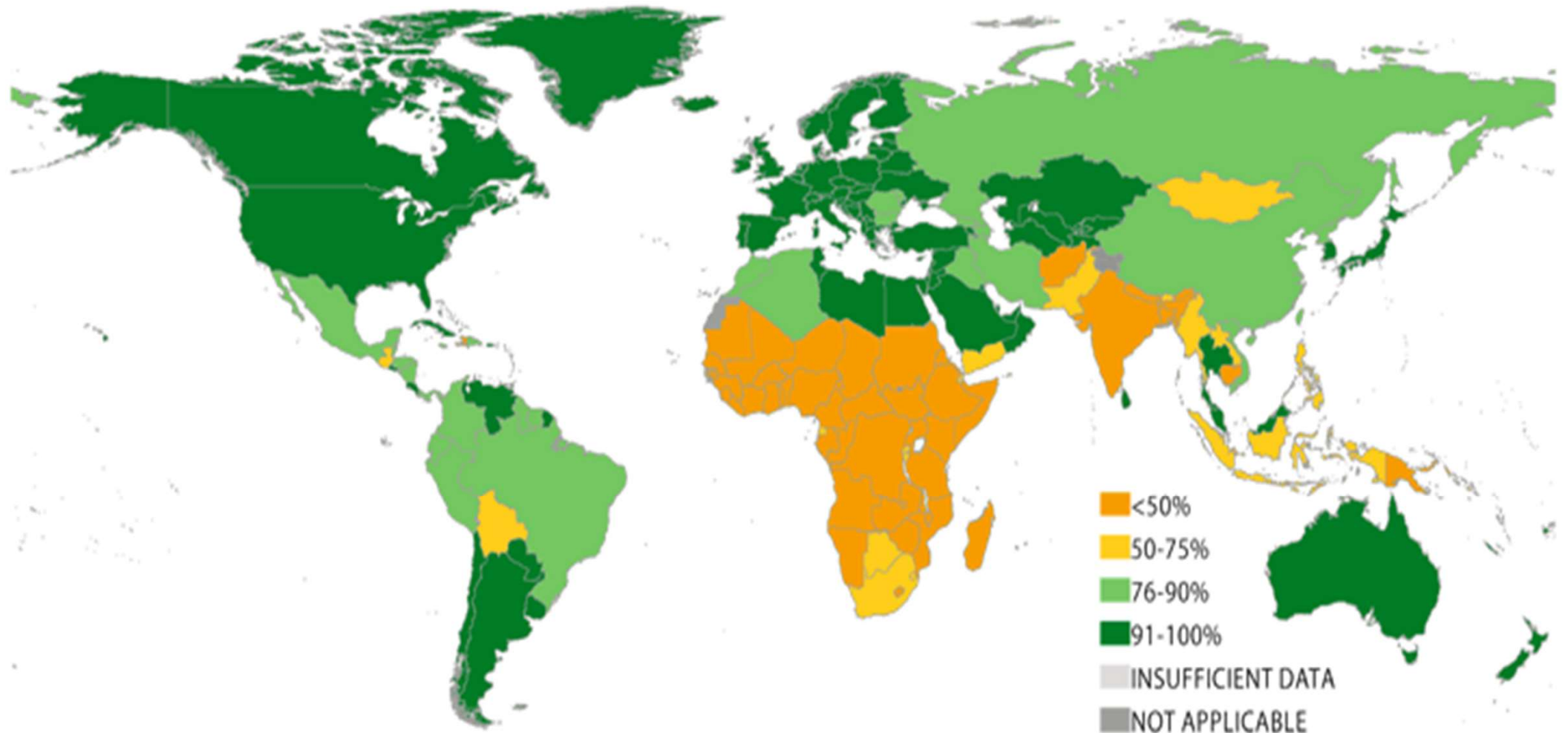
安全な水を手に入れられる人の割合は？



基本的な給水サービスを利用できる人々の割合（2015年）

(出典) Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene 2017 (Update and SDG Baselines) JMP

適切な衛生施設（トイレ）などを持つ人の割合は？

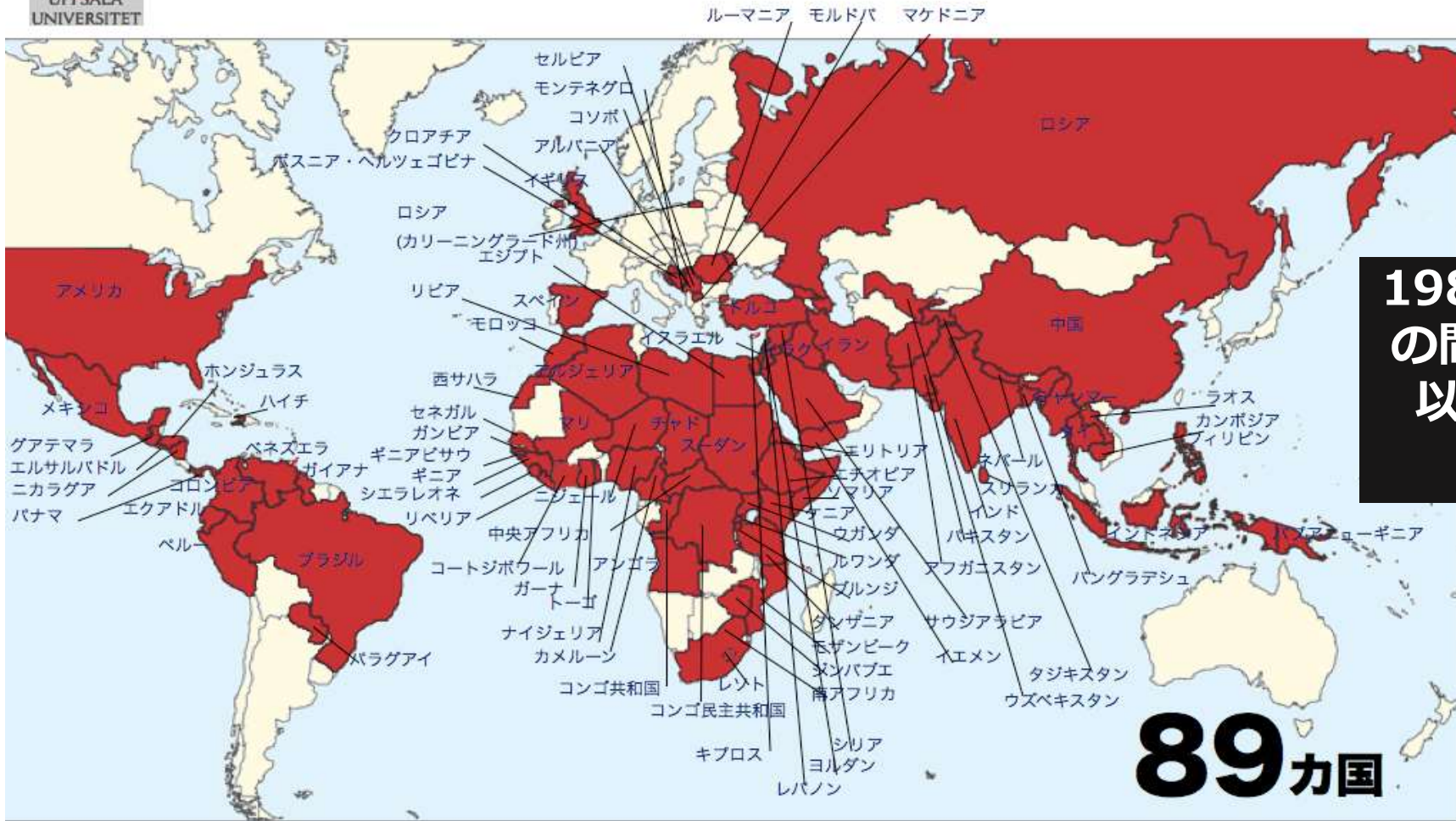


基本的な衛生施設を利用できる人々の割合（2015年）

(出典) Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene 2017 (Update and SDG Baselines) JMP



一つか二つ以上の武力紛争を抱えている国々 (1989年～2007年)



1989年から2007年の間に、一つか二つ以上の武力紛争を抱えた国の数

89カ国

武力紛争の定義： 少なくとも一方は国家政府である二つの勢力間で武力使用を伴う、25人以上の死者を出している、政府や領土に関する不一致のための争いのこと。

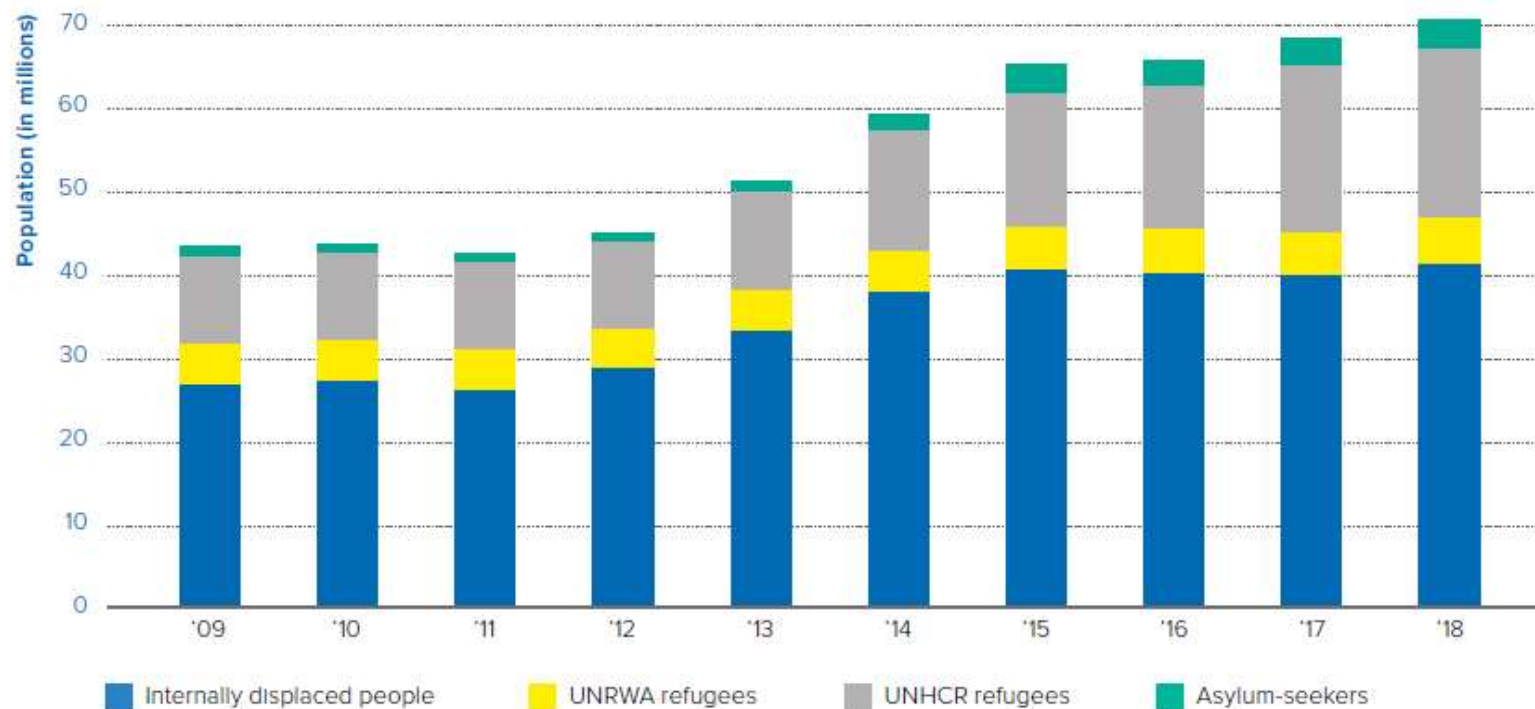
出典： Uppsala Conflict Data Program (Date of retrieval: 2009/10/01) UCDP Database: www.ucdp.uu.se/database, Uppsala University©2008

難民・国内避難民の増加

移動を強いられた人は過去最多の**7,080万人**

世界では108人に1人、2秒に1人が故郷を追われています

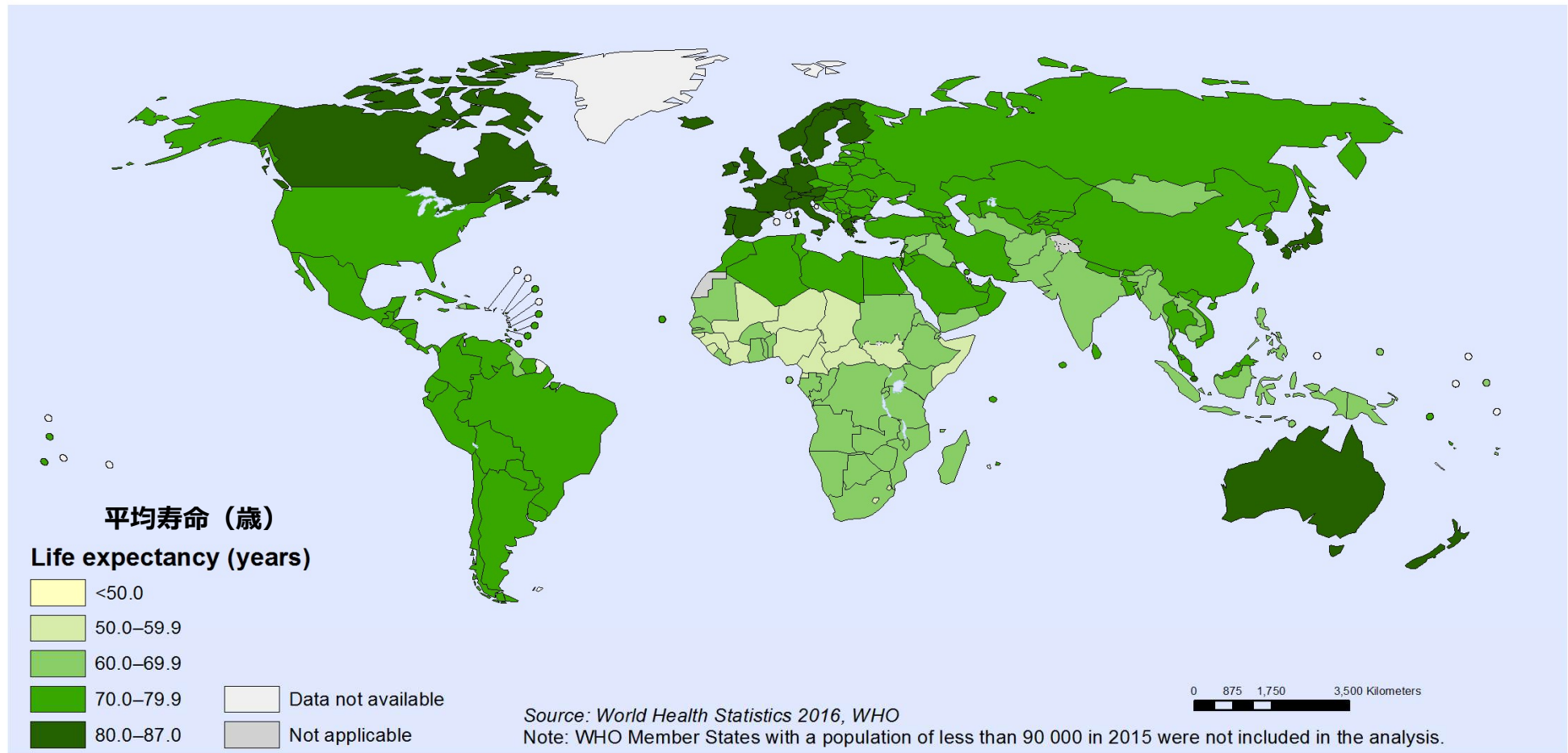
Figure 1 | Global forced displacement | 2009-2018



出所 : UNHCR(2018) Global Trend – Forced Displacement in 2018

平均寿命は？

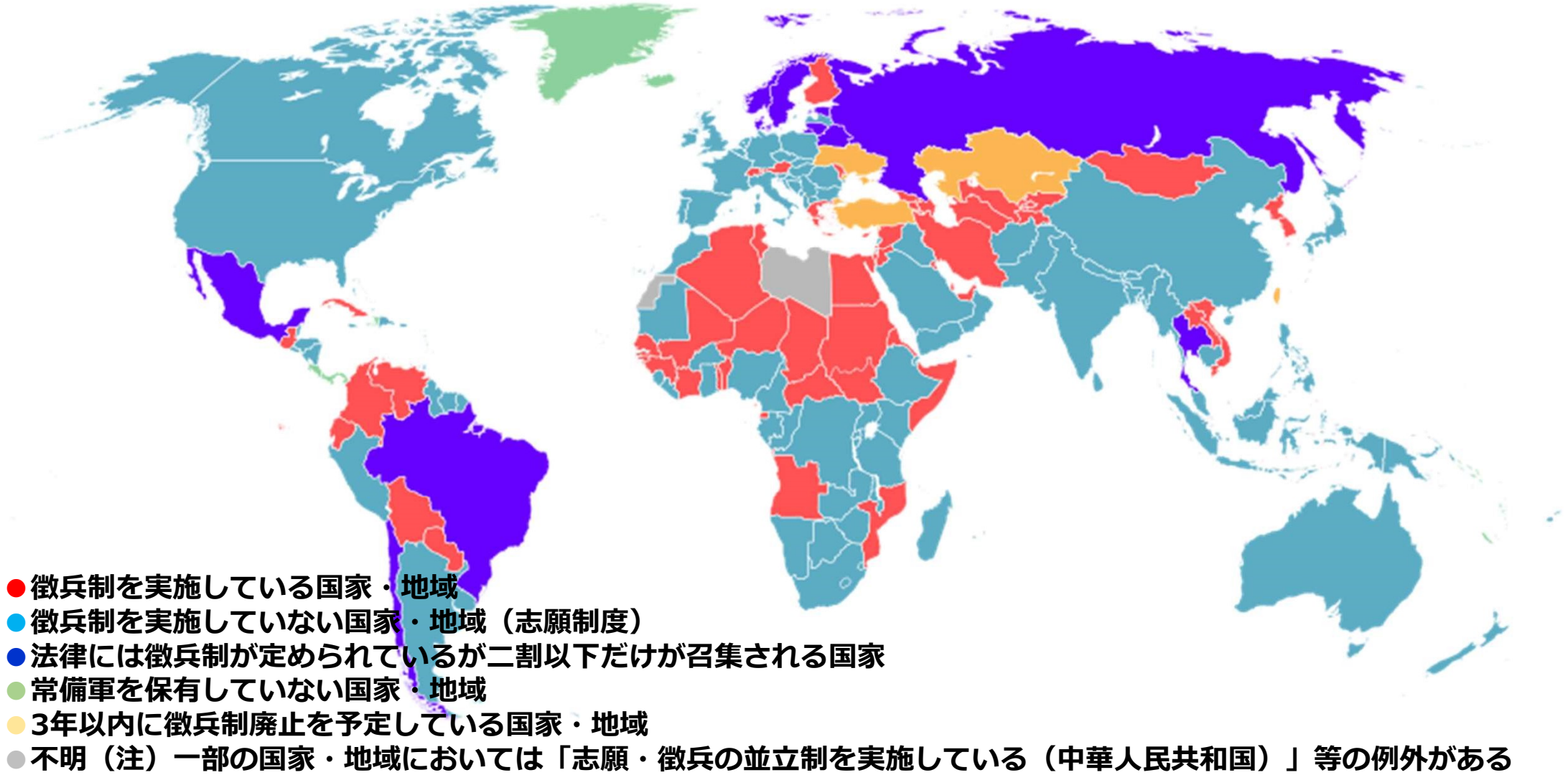
Life expectancy at birth Both sexes, 2016



The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Data Source: World Health Organization
Map Production: Information Evidence and Research (IER)
World Health Organization

徴兵制度のある国は？



TRAVEL RISK MAP 2018

Global health and travel security risks review

日本と同じレベルの医療は受けられるの？

- 日本と同レベルの医療を受けるのに
- 変動的なリスクがある
 - リスクは低い
 - 中程度のリスクがある
 - 高いリスクがある
 - とても高いリスクがある



「生まれる国」は選べないのに、

生まれた場所が違うだけで

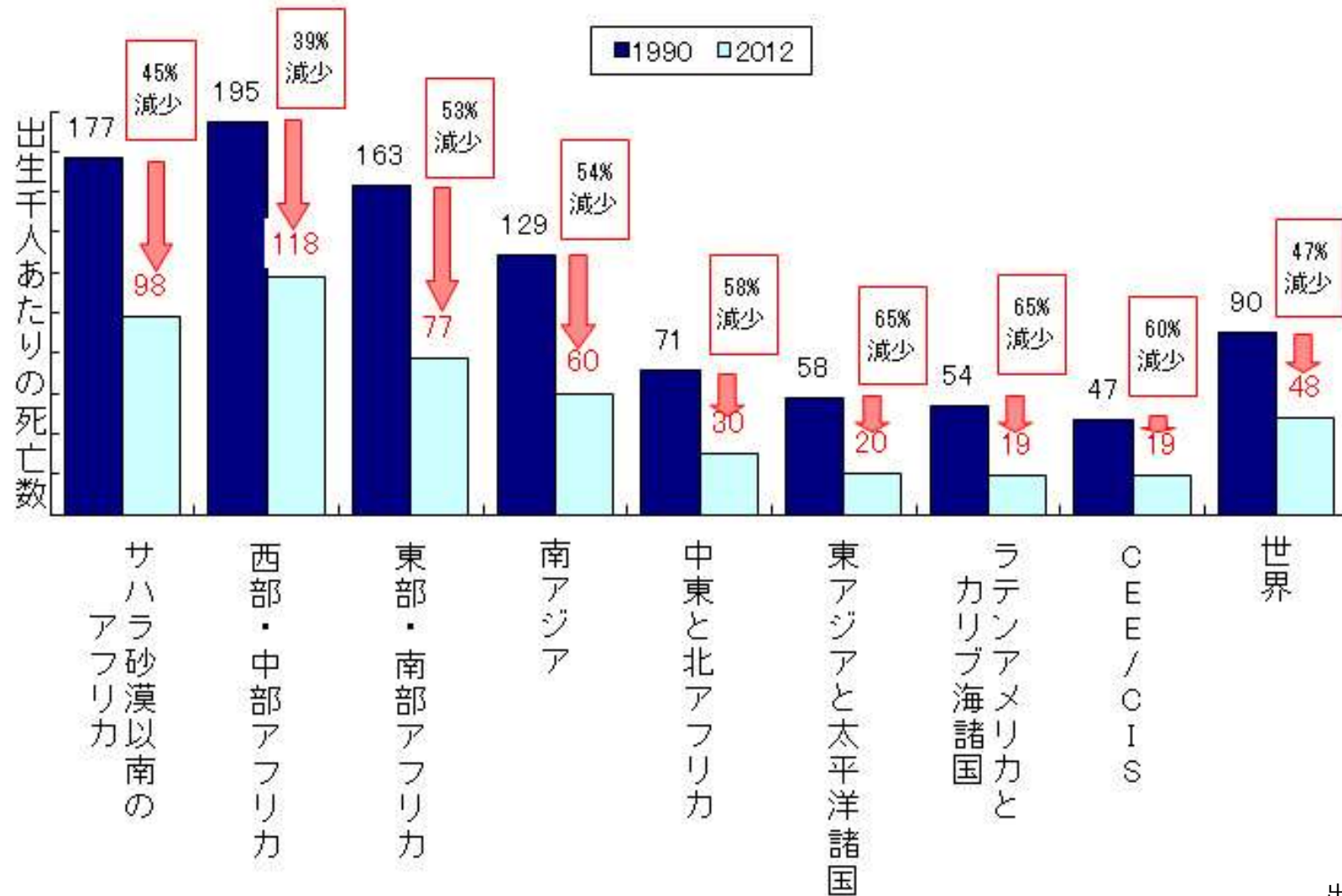
こんなにも「差」があることについて

あなたはどのように感じますか？

…でも、その差は

「仕方のないもの」なの？

5歳未満児死亡率推移(1990年と2012年の比較)



「科学者になりたい」

リベールくん、15歳(エクアドル)



© UNICEF/UN059605/Arcos

2016年に大きな地震が起きて、ぼくの家も壊れてしまいました。今、復興に向けて頑張っているところです。ぼくは、ずっと科学者になりたいと思ってきましたが、地震のあと、ぼくには夢をかなえるチャンスがあるんだって思って、前よりもその夢が大きくなりました。

「科学者になりたい」

リベールくん 15歳(エクアドル)

エクアドル大地震

2016年4月16日、エクアドル沿岸部をマグニチュード7.8の地震が襲い、被災者は72万人にのぼりました。ユニセフは安全な飲み水の提供、衛生設備の整備、教育、心理ケア、子どもや妊産婦への栄養指導、ジカ熱予防などの支援活動を行いました。

「生きたい」

ムハマドくん、10歳(バングラデシュ)



© UNICEF/UN0135716/Nybo

ミャンマーにあったぼくの村は、とつぜんおそわれました。二人のきょうだいも銃で撃たれて殺され、ぼくの家は焼かれました。ぬかるんだ道を、時にはあふれた川の水につかりながら、バングラデシュまで何日も必死に歩いてにげてきました。あのおそろしい日に見たこと、にげてきた道のことを思うと、こわくて、苦しくてたまらない。自分も死んでしまうかもしれない、そう思うとふるえてしまいます。生きていたい。ぼくの夢はそれだけです。

「生きたい」

モハマドくん 10歳(バングラデシュ)

ロヒンギャ難民について

2017年の夏にミャンマーで激化した暴力から逃れるために、少数民族のロヒンギャの人々が隣の国バングラデシュに逃れています。バングラデシュのコックスバザールという地域には、すでに地元住民の人口を上回る68万8,000人以上の難民が押し寄せ、過密するキャンプや仮設居住区で避難生活を送っています。この難民危機により子ども72万人を含む120万人もの人々が、命と安全を守るための緊急の人道支援を必要としています。

「お医者さんになりたい」

ファトゥマさん、10歳(シエラレオネ)



© UNICEF/UN059605/Arcos

わたしの国では、エボラ出血熱という病気が広がって、お父さんもお母さんもその病気で死んでしまいました。二人のこと、わたしにしてくれたことを考えると、泣いてしまいます。でも大丈夫。いまは算数が得意です。勉強して、大きくなったらお医者さんになって、家族を助けられるようになりたい、それがわたしの夢です。

「お医者さんになりたい」
ファトゥマさん、10歳(シエラレオネ)

エボラ出血熱って？

2014年3月から西アフリカのリベリア、シエラレオネ、ギニアを中心に、世界中で猛威をふるったエボラ出血熱。エボラウイルスによって広がる、まだ治療薬が開発されていない感染症です。

エボラの流行が始まって以降2年以上の間に、2万8,637人が感染し、そのうち4,767人が子どもでした。そして、死亡者1万1,315人のうち、3,508人が子どもであり、死亡者の4分の1を占めています。

2016年1月14日、エボラ出血熱は、世界中からの支援のおかげで、流行3カ国(リベリア、シエラレオネ、ギニア)で終息宣言を迎えることができました。

しかし、この3カ国で、ファトゥマさんのように、片親もしくは両親を亡くした子どもたちは2万3,000人ちかいます。そうした子どもたちにとって、エボラ出血熱の影響はこれからもずっと続くのです。

・・・あなたには、

なにができるでしょうか？